

プログラム

9:30

開場・受付開始

会場 はまぎんホール
会場 横浜市社会福祉センター

10:00～12:00

分科会

第1分科会

会場：はまぎんホール

「居所不明児童～支援が届かない子ども～の現状と課題」

【主担当：横浜市】

【概要】地域や家族の縁を切り、公的な支援も求めない親によって「居所不明児童」となり、支援が届かない子どもの現状と課題を議論する。

- パネリスト 田中 博章氏（横浜市こども青少年局長）
- パネリスト兼コーディネーター 飯島奈津子氏（横浜市児童虐待による重篤事例等検証委員／弁護士）
- パネリスト 石川 結貴氏（作家／ジャーナリスト）

第2分科会

会場：はまぎんホール

「要保護児童対策地域協議会 ～連携から協働へ“ご一緒に！”～」

【主担当：神奈川県】

【概要】県内自治体における要保護児童対策地域協議会での実践報告から、「連携から協働へ」をテーマに、より実効性のある取組について議論する。

- コーディネーター 増沢 高氏（子どもの虹情報研修センター研修部長）
- パネリスト 吉川 まり子氏（伊勢原市子ども部子ども家庭相談室 主査）
- 田辺 有二氏（神奈川県平塚児童相談所長）
- 原 和子氏（神奈川県鎌倉三浦地域児童相談所 児童福祉司）
- 銭谷 壮一郎氏（鎌倉市こどもみらい部こども相談課相談室担当）

第3分科会

会場：横浜市社会福祉センター

「児童虐待対応における医療機関との円滑な連携について」

【主担当：川崎市】

【概要】医療機関や児童相談所などにおける児童虐待対応の現状を踏まえ、児童虐待の予防、早期発見・早期対応を図るため、医療機関との円滑な連携の推進について議論する。

- コーディネーター 中山 浩氏（川崎市こども家庭センター担当部長）
- 北谷 尚也氏（川崎市市民・こども局こども本部児童家庭支援・虐待対策室担当課長）
- パネリスト 出路 幸夫氏（川崎市こども家庭センター担当係長）
- 梅澤 直美氏（川崎市川崎区保健福祉センター担当係長）
- 安藏 慎氏（川崎市立川崎病院 小児科部長）
- 向井 敏二氏（聖マリアンナ医科大学 法医学教授）
- 佐藤 明弘氏（横浜市立市民病院小児科医長／横浜市児童虐待防止医療ネットワーク）

第4分科会**会場：横浜市社会福祉センター****「高齢児童への自立支援 ～虐待の連鎖を断つために～」**

【主担当：相模原市】

【概要】 高齢児童の支援にあたり、里親宅での措置延長、就職支援センター、自立援助ホームとの連携等を紹介しながら、真の自立について考える。

- コーディネーター 鳥谷 明氏（相模原市児童相談所長）
- パネリスト 高橋 温氏（新横浜法律事務所 弁護士）
鈴木 寛子氏（さがみの里親会 副会長）
久保田 啓仁氏（相模原市就職支援センター長）

第5分科会**会場：横浜市社会福祉センター****「児童相談所における特別養子縁組への取組」**

【主担当：横須賀市】

【概要】 虐待の連鎖を断って、パーマネンシーを保障し、あわせて家庭で育つ権利も実現する特別養子縁組について考える場を提供する。

- 講演者 林 浩康氏（日本女子大学人間社会学部 教授）
- 司会 高場 利勝氏（横須賀市児童相談所長）

13:30～13:50**開会式**

会場 はまぎんホール

- ・開会挨拶（主催者 及び 共催者）
- ・平成27年度児童虐待防止推進月間標語最優秀賞（厚生労働大臣賞）の授与

14:00～15:30**基調講演**

会場 はまぎんホール

「これからの児童虐待防止を考える」

【講師】 松原 康雄氏（明治学院大学社会学部 教授）

15:40～16:40**全体会**

会場 はまぎんホール

各分科会の議論を発表していただき、全体のまとめを行いました。

- コーディネーター 松原 康雄氏（明治学院大学社会学部 教授）
- 各分科会代表者
 - 第1分科会 田中 博章氏（横浜市こども青少年局長）
 - 第2分科会 増沢 高氏（子どもの虹情報研修センター研修部長）
 - 第3分科会 北谷 尚也氏（川崎市市民・こども局こども本部児童家庭支援・虐待対策室担当課長）
 - 第4分科会 高橋 温氏（新横浜法律事務所 弁護士）
 - 第5分科会 高場 利勝氏（横須賀市児童相談所長）
- オブザーバー 田村 悟（厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課虐待防止対策室長）

16:40～16:45**閉会式**

会場 はまぎんホール